豊和工業株式會社

2027年3月期　第2四半期（中間期）
決算説明資料

2026年11月13日

（証券コード：6203　東証スタンダード・名証プレミア）

ハイライト

第２四半期（中間期）決算概要

売上高は前年同期を下回るも、営業利益、経常利益は大幅増

- ❑ 売上高　：　104億60百万円（前年同期比11.1%減）
- ❑ 営業利益　：　9億72百万円（前年同期比153.8%増）
- ❑ 経常利益　：　11億17百万円（前年同期比151.0%増）

セグメント別概要

工作機械関連	減収黒字化	過年度評価損計上製品の受注等による一時的な増益
火器	減収減益	特定取組契約による収益が剥落
特装車両	減収赤字化	路面清掃車の販売台数減少
建材	増収増益	防音サッシの予算執行が順調に進行

通期予想

2026年5月15日に公表の業績予想を据え置き

1. 連結決算概要

2. 連結業績予想

添付資料　財務データ

1. 連結決算概要

連結経営成績

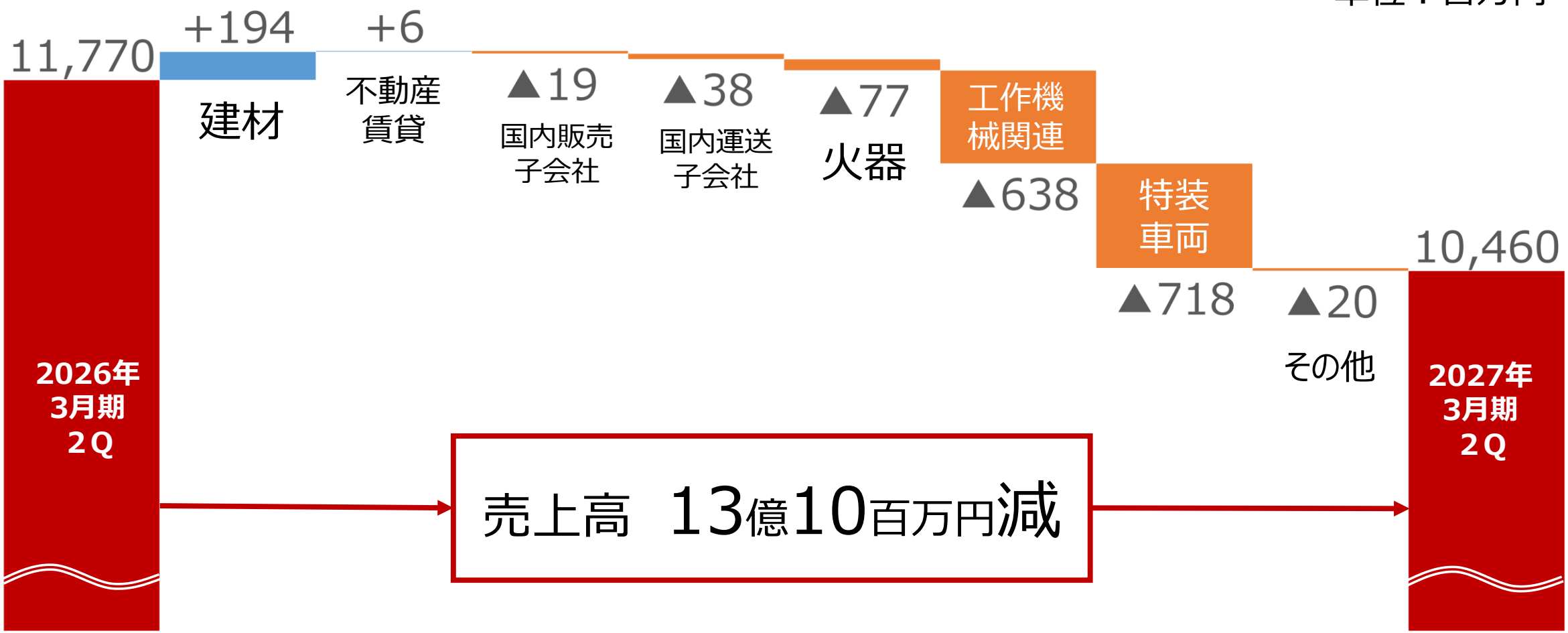
❑ 売上高は前年同期比約11%減も、営業利益および経常利益は前年同期比150%以上の増益

単位：百万円	2026年3月期 第２四半期（中間期）		2027年3月期 第２四半期（中間期）		増減額	増減率 %
	実績	利益率 %	実績	利益率 %		
売上高	11,770		10,460		▲1,310	▲11.1
営業利益	383	3.3	972	9.3	+589	+153.8
経常利益	445	3.8	1,117	10.7	+672	+151.0
親会社株主に帰属する中間純利益	106	0.9	754	7.2	+648	+611.3

連結売上高増減要因

❑ 建材は増収も、特装車両、工作機械関連で大幅な減収

単位：百万円



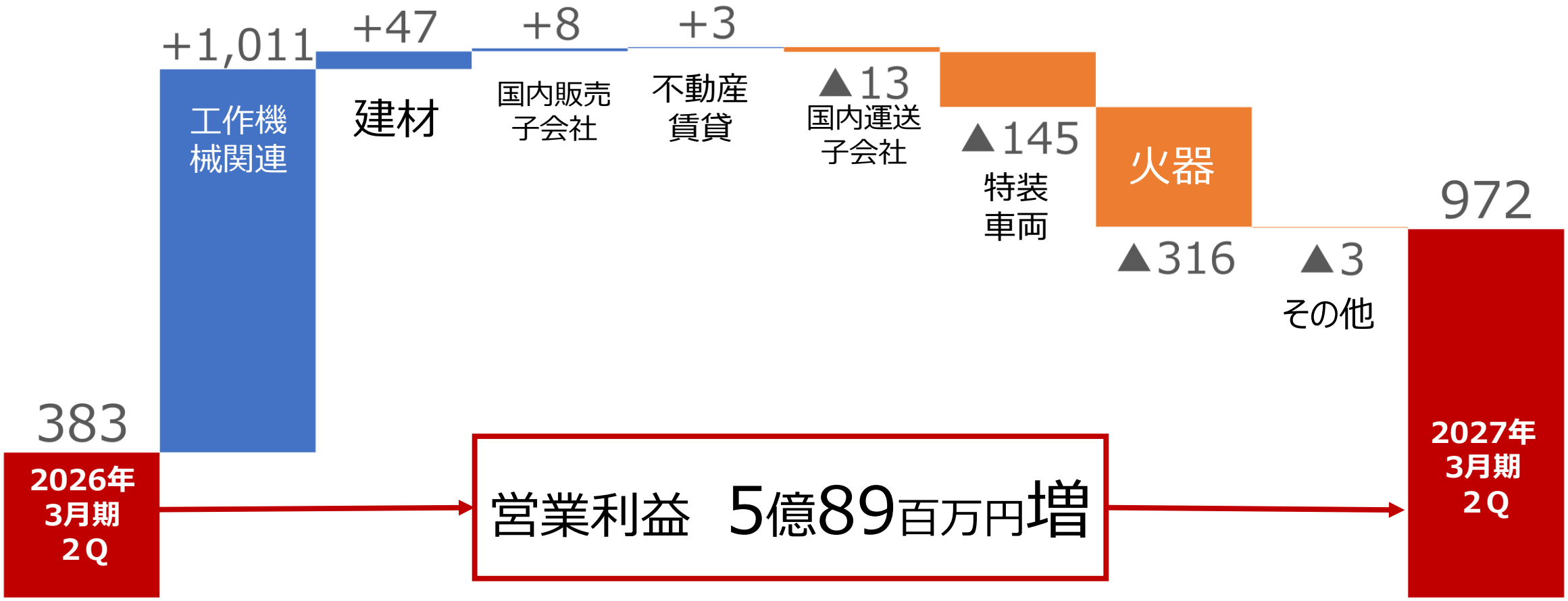
セグメント別連結売上高

単位：百万円	2026年3月期 第２四半期（中間期）実績	2027年3月期 第２四半期（中間期）実績	増減額	増減率 %
合計	11,770	10,460	▲1,310	▲11.1
工作機械関連	3,102	2,464	▲638	▲20.6
火器	4,151	4,074	▲77	▲1.9
特装車両	1,284	566	▲718	▲55.9
建材	1,480	1,674	+194	+13.1
不動産賃貸	251	257	+6	+2.4
国内販売子会社	1,084	1,065	▲19	▲1.8
国内運送子会社	343	305	▲38	▲11.1
その他	70	50	▲20	▲28.6

連結営業利益増減要因

❑ 火器、特装車両が大幅減益も、工作機械関連が大幅増益、建材も増益

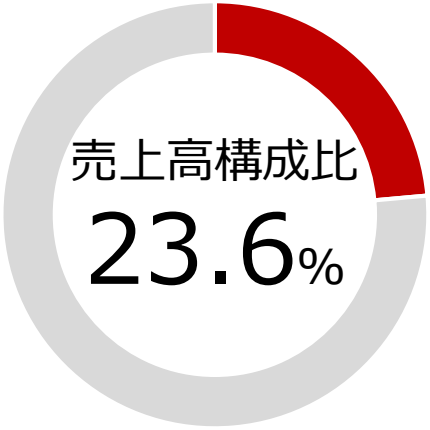
単位：百万円



セグメント別連結営業利益

単位：百万円	2026年3月期 第２四半期（中間期）		2027年3月期 第２四半期（中間期）		増減	増減率 %
	実績	利益率 %	実績	利益率 %		
合計	383	3.3	972	9.3	+589	+153.8
工作機械関連	▲732	▲23.6	279	11.3	+1,011	黒字化
火器	736	17.7	420	10.3	▲316	▲42.9
特装車両	28	2.2	▲117	▲20.7	▲145	赤字化
建材	54	3.6	101	6.0	+47	+87.0
不動産賃貸	205	81.7	208	80.9	+3	+1.5
国内販売子会社	50	4.6	58	5.4	+8	+16.0
国内運送子会社	9	2.6	▲4	▲1.3	▲13	赤字化
その他	30	42.9	27	54.0	▲3	▲10.0

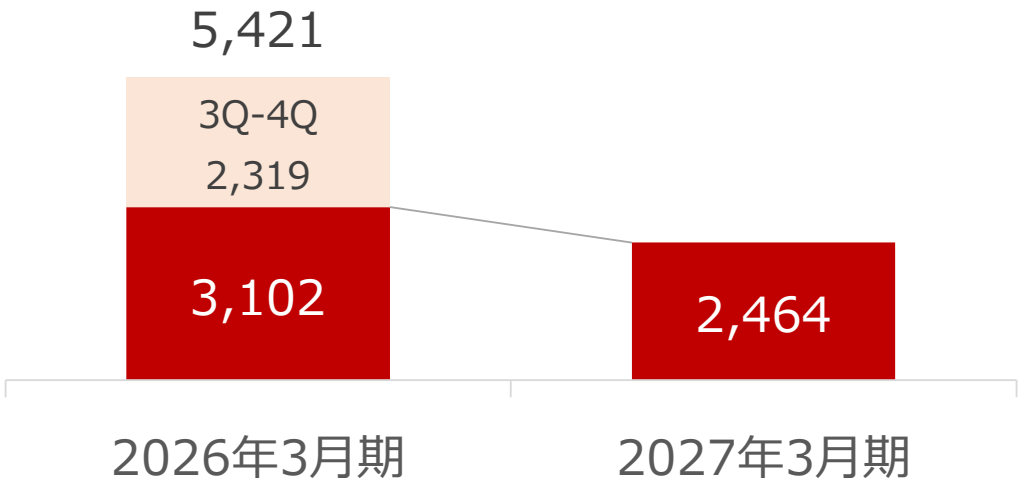
工作機械関連事業　2027年3月期中間期　業績概要



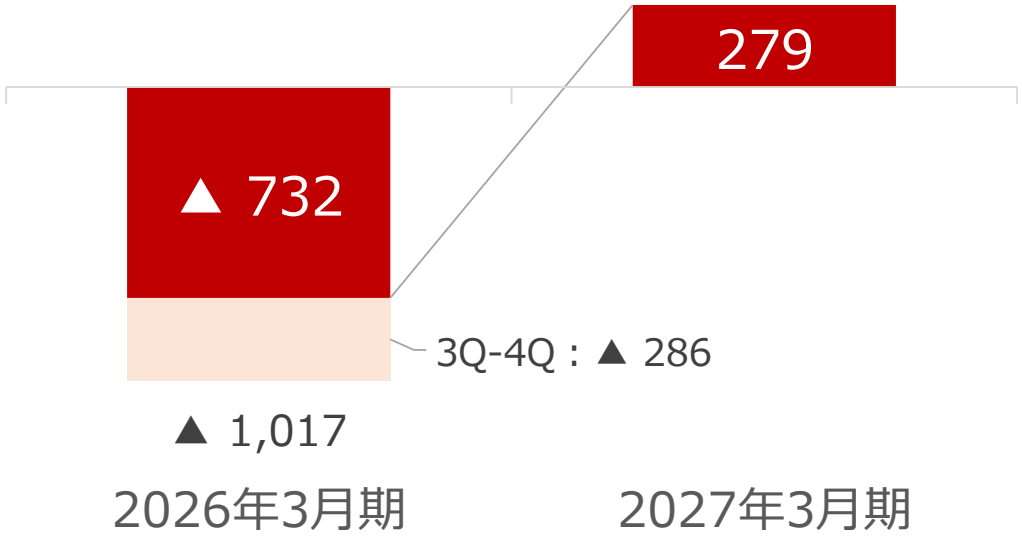
- 主要顧客である自動車関連業界からの受注が増加も、出荷は限定的で売上は低調に推移
- 空油圧機器は受注の増加により売上は増加
- 高収益案件の割合増加、空油圧機器の収益性改善あり
- 過年度に棚卸資産評価損を計上した製品の受注など一時的な増益要因も寄与

単位：百万円

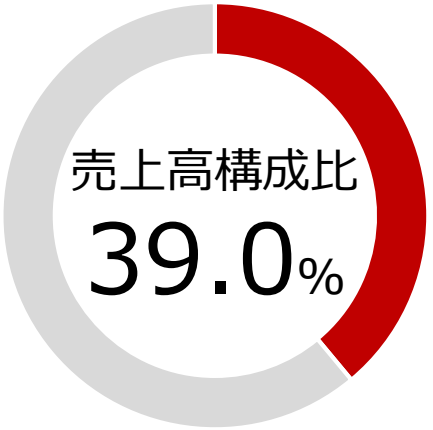
売上高　20.6%減（638百万円減）



営業利益　黒字化（1,011百万円増）



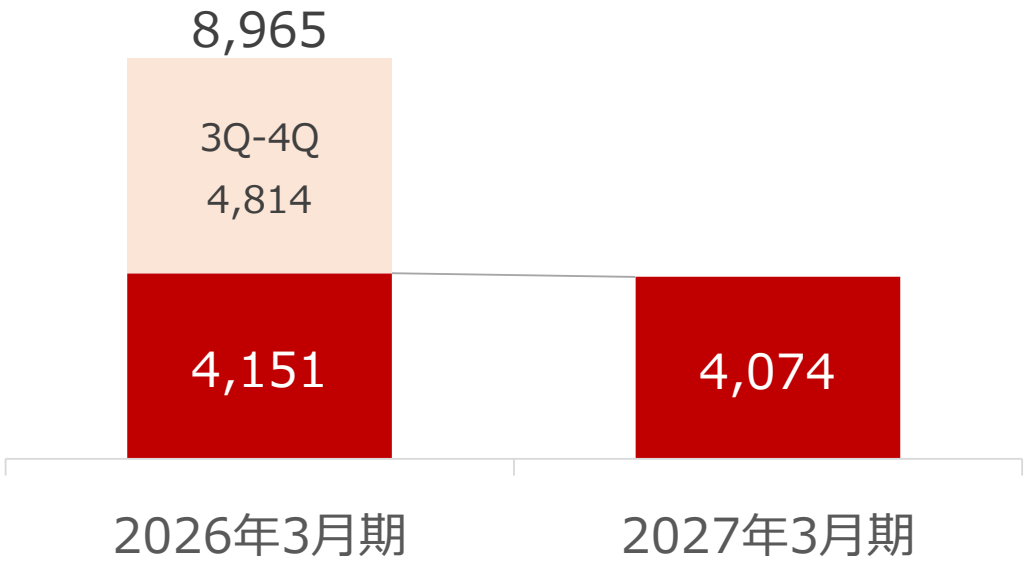
火器事業　2027年3月期中間期　業績概要



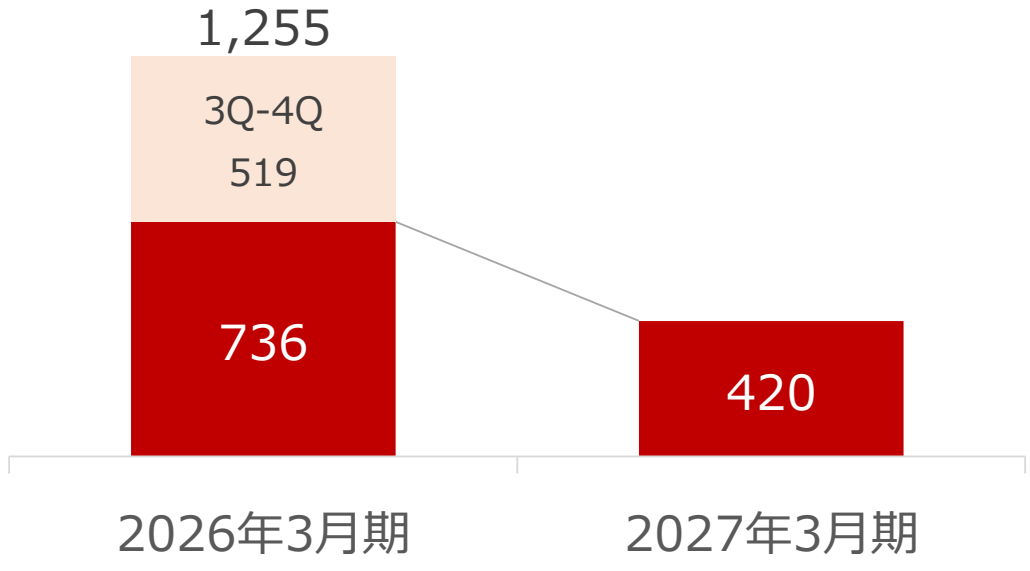
- ❑ 防衛装備品は、20式小銃の納入が計画通りに進捗し数量が増加、その他の防衛装備品の契約も増加
- ❑ スポーツライフルは米国において需要回復傾向にあり輸出数量が増加
- ❑ 前年度に計上した防衛生産基盤強化法に基づく特定取組契約による収益が剥落

単位：百万円

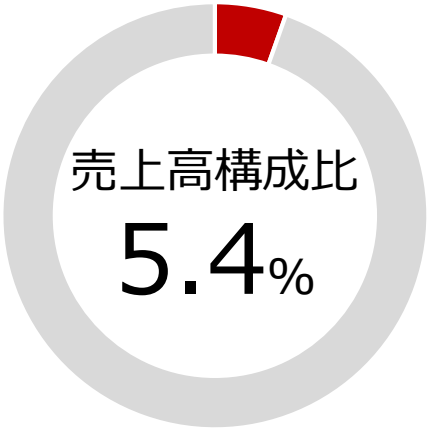
売上高　1.9%減（77百万円減）



営業利益　42.9%減（316百万円減）



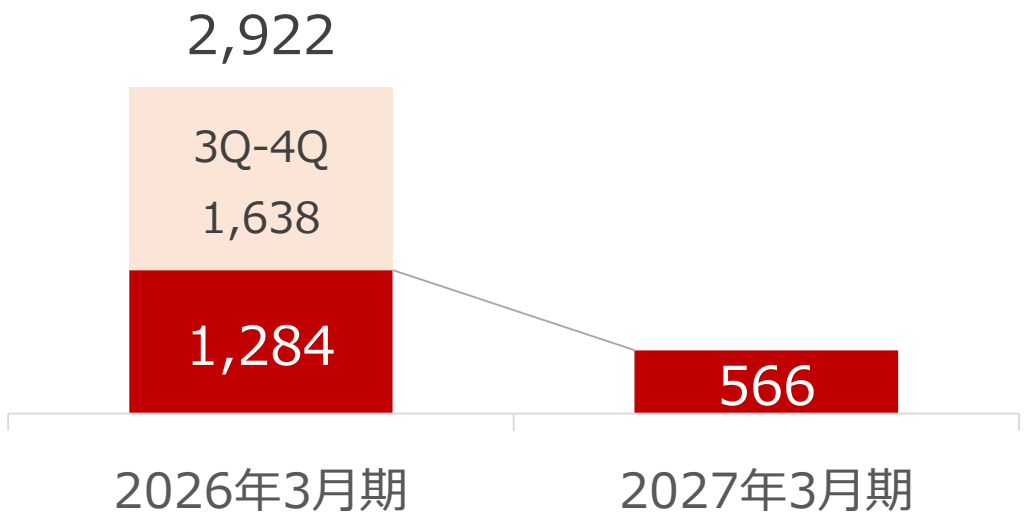
特装車両事業　2027年3月期中間期　業績概要



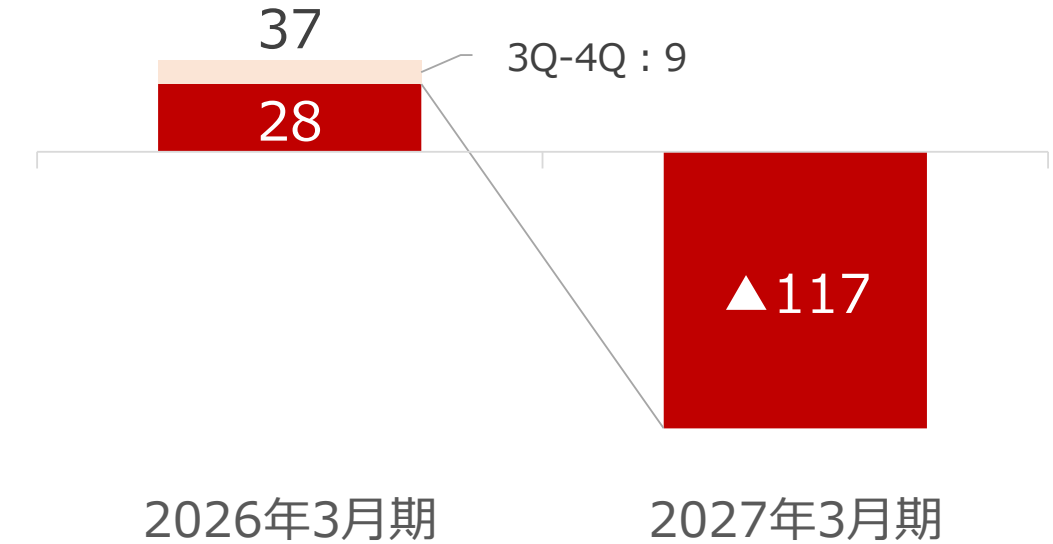
- ❑ 路面清掃車は、モデルチェンジによる販売の移行期となったことに加え、中東情勢の影響による原材料の調達難などにより生産が一時的に停滞したことから販売台数が減少
- ❑ 生産量の減少により収益性が低下
- ❑ 路面清掃車のリユースビジネスを展開するにあたり販売総代理店の英和株式会社と共同でマシンサービス社を買収し4月より運営を開始

単位：百万円

売上高　55.9%減（718百万円減）



営業利益　赤字化（145百万円減）



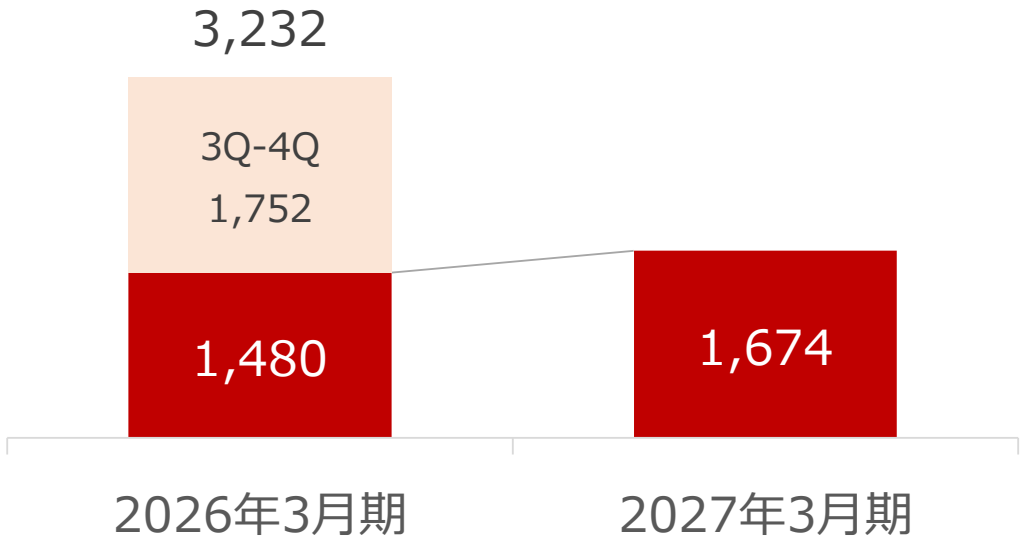
建材事業　2027年3月期中間期　業績概要



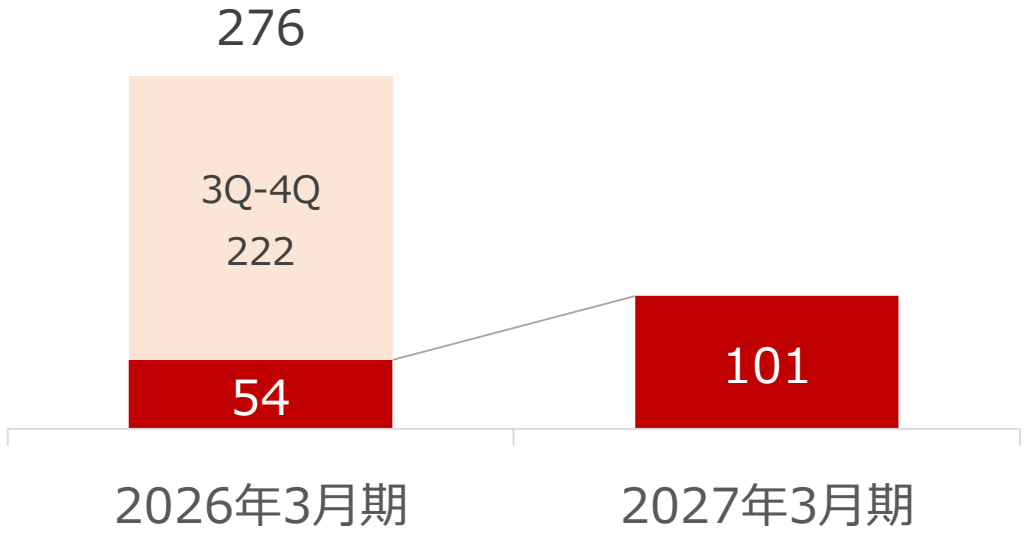
- ❑ 防音サッシは防衛予算の順調な執行と受注獲得により計画通りに進捗し、一般サッシの売上が増加
- ❑ 防水製品は台風や豪雨での浸水被害が多発する中で引き合いが増加し、売上高も前年同期を上回る
- ❑ 売上の増加と生産性の改善により収益性が向上

単位：百万円

売上高　13.1%増（194百万円増）



営業利益　87.0%増（47百万円増）



2. 連結業績予想

2027年3月期連結業績予想

2026年5月15日に公表した連結業績予想を据え置き

単位：百万円	2026年3月期		2027年3月期		増減額	増減率 %
	実績	利益率 %	予想	利益率 %		
売上高	24,064		23,560		▲504	▲2.1
営業利益	1,186	4.9	1,410	6.0	+224	+18.9
経常利益	1,382	5.7	1,580	6.7	+198	+14.3
親会社株主に帰属する当期純利益	741	3.1	1,080	4.6	+339	+45.7

2027年3月期連結業績予想　セグメント別連結売上高

単位：百万円	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減額	増減率 %
合　　計	24,064	23,560	▲504	▲2.1
工作機械関連	5,421	5,107	▲314	▲5.8
火　　器	8,965	8,733	▲232	▲2.6
特装車両	2,922	3,142	+219	+7.5
建　　材	3,232	3,238	+5	+0.2
不動産賃貸	508	508	0	0.0
国内販売子会社	2,144	2,088	▲56	▲2.6
国内運送子会社	742	706	▲36	▲4.9
そ　の　他	126	38	▲88	▲69.8

2027年3月期連結業績予想　セグメント別連結営業利益

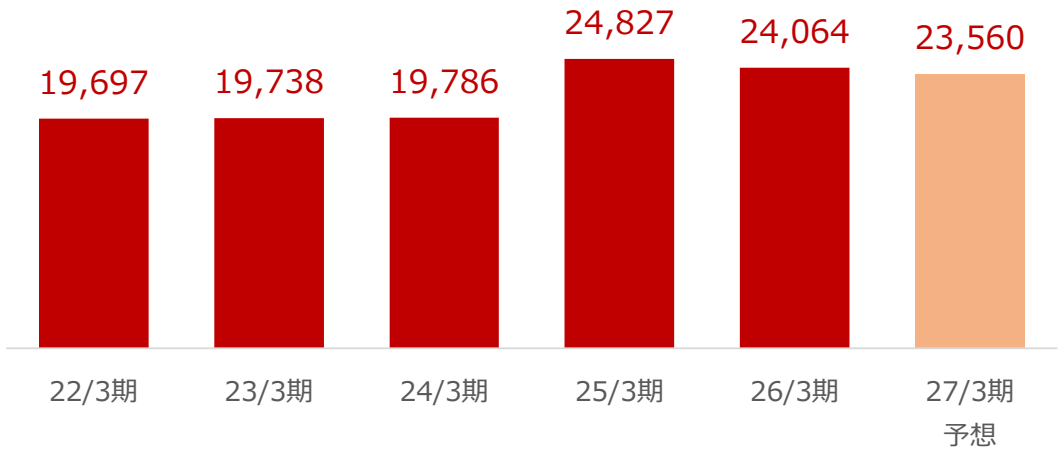
単位：百万円	2026年3月期		2027年3月期		増減	増減率 %
	実績	利益率 %	予想	利益率 %		
合計	1,186	4.9	1,410	6.0	+224	+18.9
工作機械関連	▲1,017	▲18.8	14	0.3	+1,031	黒字化
火器	1,255	14.0	557	6.4	▲698	▲55.6
特装車両	37	1.3	65	2.1	+27	+75.7
建材	276	8.6	208	6.4	▲68	▲24.6
不動産賃貸	411	80.9	411	80.9	0	0.0
国内販売子会社	102	4.8	101	4.8	▲1	▲1.0
国内運送子会社	48	6.5	26	3.7	▲22	▲45.8
その他	73	57.9	28	73.7	▲45	▲61.6

添付資料　財務データ

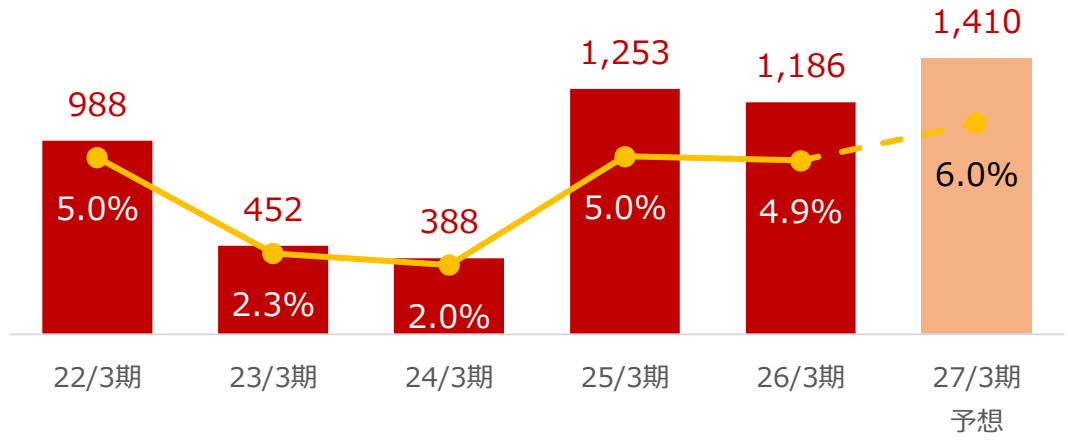
業績ハイライト

単位：百万円

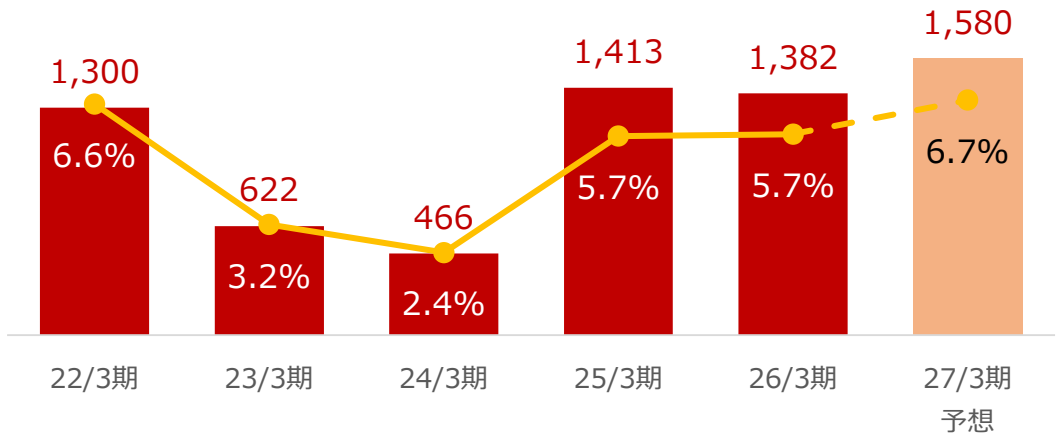
売上高



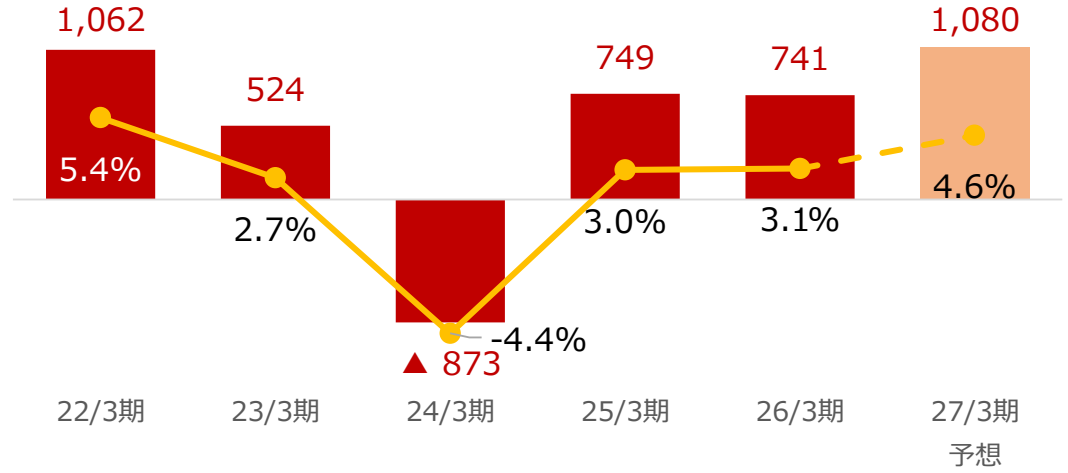
営業利益／売上高営業利益率



経常利益／売上高経常利益率



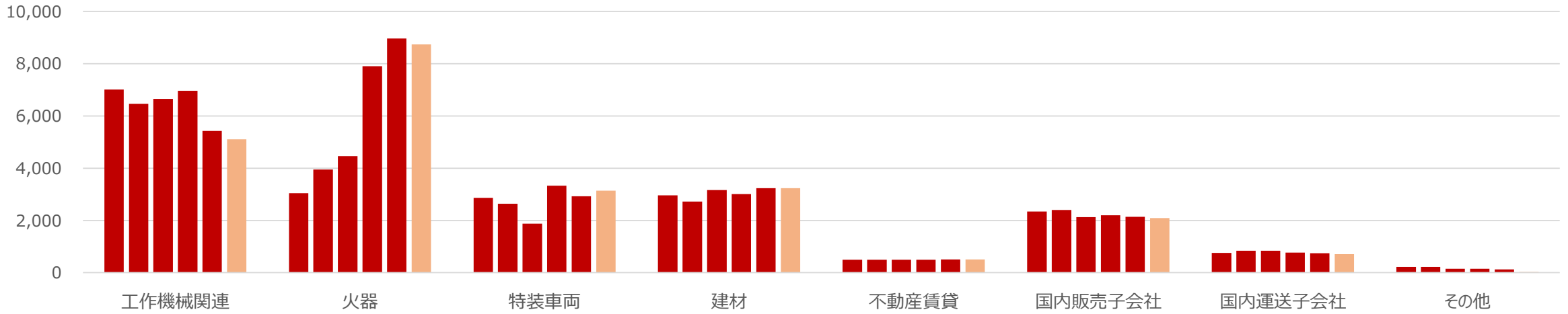
親会社株式に帰属する当期純利益／売上高当期純利益率



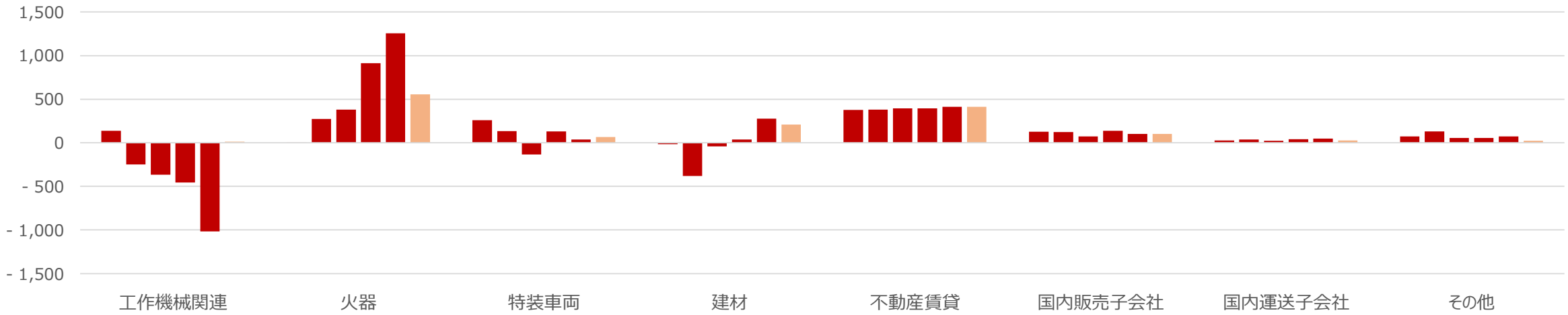
業績ハイライト　単位：百万円

左から22/3期、23/3期、24/3期、25/3期、26/3期、27/3期予想

セグメント別売上高推移

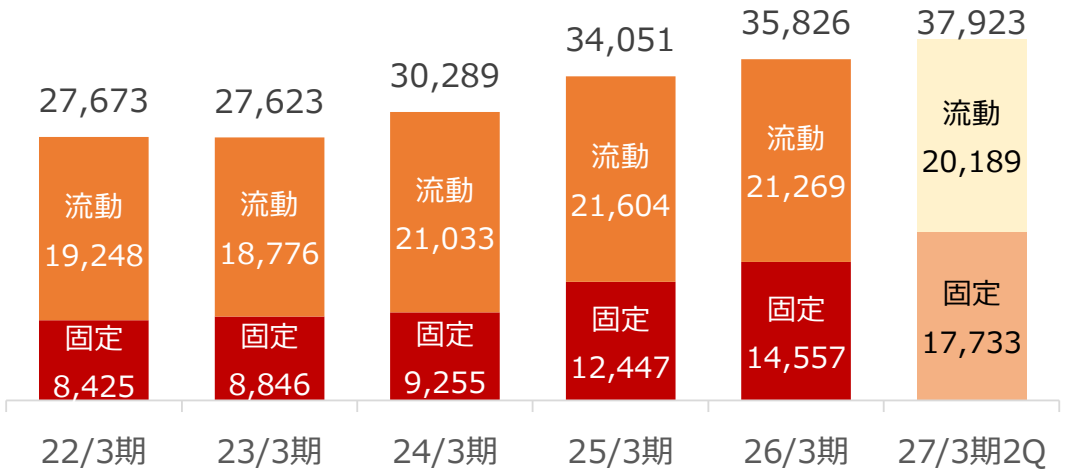


セグメント別営業利益推移

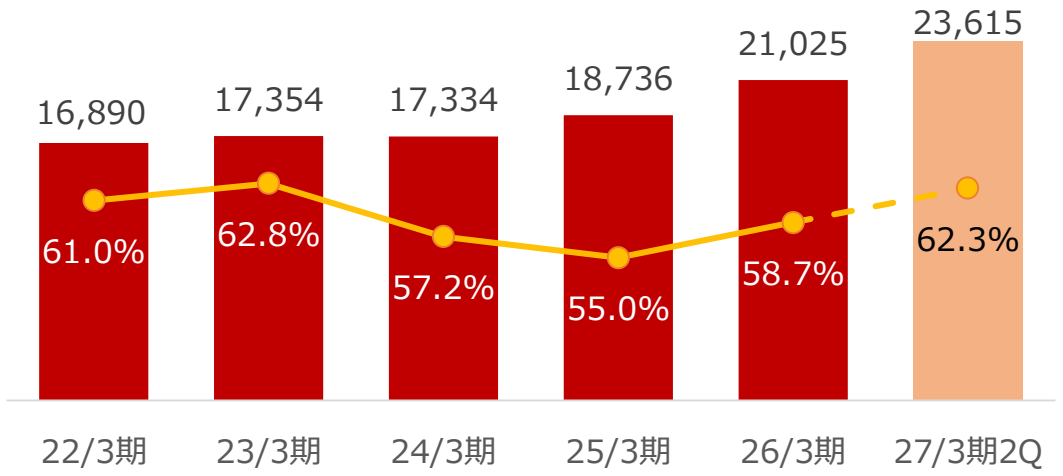


業績ハイライト　単位：百万円

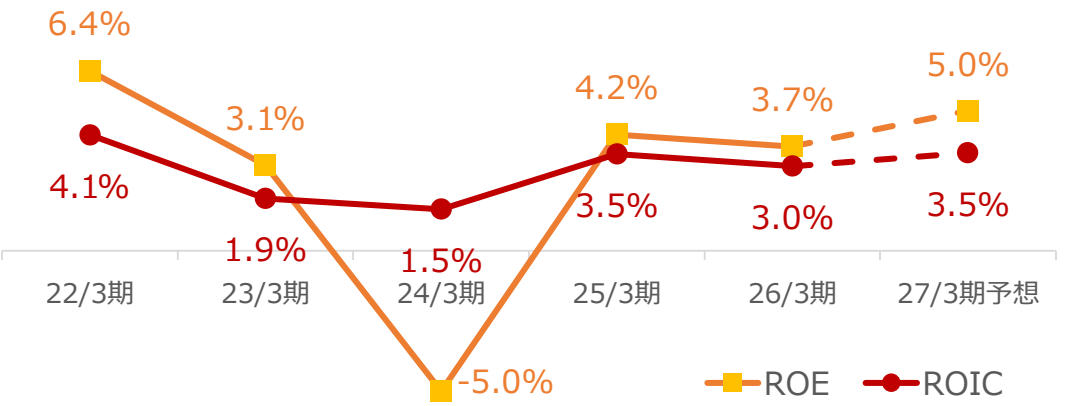
総資産



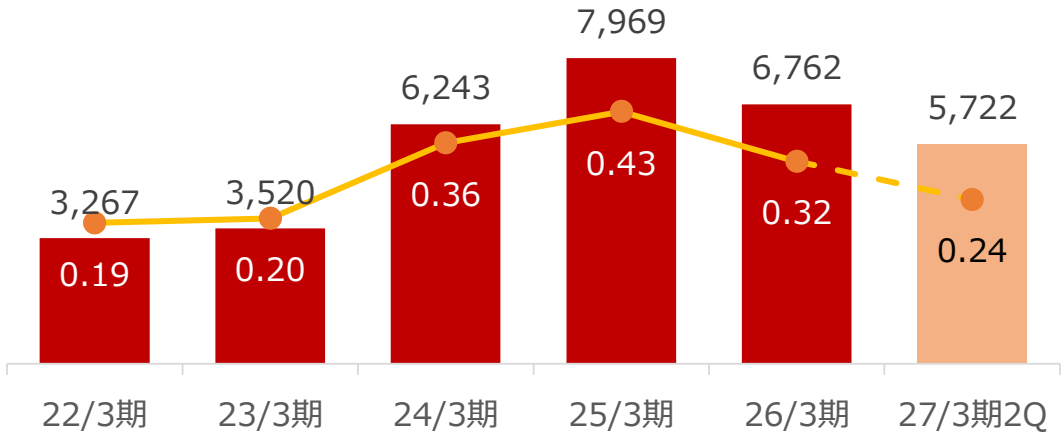
自己資本／自己資本比率



ROE／ROIC



有利子負債/DER



DER（デット・エクイティ・レシオ）＝有利子負債残高÷株主資本
有利子負債はリース債務を含む

本資料における注意事項

本資料には豊和工業株式会社（以下、当社）の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。

これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。そのため、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。